



国際災害レスキューナース  
辻直美

# レスキューナース からのメッセージ

Vol.15

## 判断力、行動力

先日、大阪から小田原へ日帰り出張があった。

脳性麻痺の子供を抱えるご家族に対して、抱っこを含むケア、そして防災についてご指導してきた。帰りも同様に乗り継ぎスムーズに新大阪に着いた。私の自宅はそこから4つ目の駅にある。新大阪まで来れば自宅まではもうすぐ。ホッとしたのもつかの間、新幹線のついたホームから改札に向かうと、改札口が山のような人でごった返し!

それもタクシー口に向かって。

さて、あなたならどうしますか?こんな時に「判断力」「行動力」が試される。災害は予定をしてくるものではない。普通に生活をしている時、いきなり生活を脅かす。目で見た情報から何を予想しどう判断し行動するのか?

これを3秒ジャッジとして行動に移していくことで、自分の命そして周りの命を救うことにつながる。

私はまず、自宅までの路線情報を調べた。

「ついさっきあった人身事故で、JRが全線止まっている」「深夜のため、振替輸送は全くなし」そして、金曜日の23時50分、雨が降り出していた。

この情報から分かる事は、

「今起こった人身事故だから、現場検証がこれから始まる」「外は雨が降っているので、かなり時間がかかると思われる」「金曜日なので、もともと人は多い」

そして、今自分を取り巻く状況として、

「私鉄はもう既に、最終を過ぎている」「ここから見える限り、新大阪からタクシーに乗ることがかなり難しい」

そこで駅員に、事故の状況を確認した。

今の状況では、全く運行開始が見えないので、事故の場所を確認する。その場所だったら、しばらく在来線に乗っていれば、ここから2つ先までは必ず動かしだ。そう判断した私は在来線に向かう。電車に乗る前に、りんごジュースとお茶を買う。これからどれぐらいかかるか分からないので、糖分と水分を確保した。

もちろん車内は騒然としていた。ここは慌てず駅の中で座れる、もしくは壁に寄りかかれる場所を探す。と同時に、この時間に起きていて、迎えに来てくれそうな人に連絡をとってみる。残念ながら、もう深夜なので既読にもならない。誰かの迎えは諦めることにする。

在来線に乗っていると、私の予想通り、ここから2つ先まではとりあえず動くとアナウンスがあった。この線路上には事故現場までの間に普通電車が二両、新快速が二両、そしてこの電車が一番後ろなのだという。つまり、運転再開になったとしても、この線路上にいる電車が順番に動けるとしても、私の乗っている電車は1番最後になるということだ。

私はこの2つ先にある駅の周りでタクシーが拾えるか調べた。その駅は最終電車が過ぎるとほとんどタクシーがない所だが、タクシー間でも事故で電車が止まっている事はもうこの時間になれば伝わっているはず……。その駅でタクシーを待つのが、最短最善の策だと考えて、2つ先の駅で電車が止まったのでタクシー乗り場に向かった。

そこで今日の講義を振り返って文章に起こしたり、ブログやFacebook Twitterに記事をアップした。それでもまだ時間があったので、自分の中で今手放せない思いを内省することにした。毎日毎日、仕事が詰まっている私には、この時間は神様からのご褒美だ。結局タクシーに乗れるまでにはかなり時間がかかったが、あれだけの人数が待っていた割には早かったと思う。

周りの人を見ていると非常に焦っていて、意味のない行動をしている人がたくさんいた。オロオロして落ち着かない、スマホを使いまくる、電話をかけて今の状況を愚痴りまくり、やたらとお茶をがぶがぶ飲む など……。

これが人身事故による電車遅延なのでそれ以上の事はないが、もしこれが実際の災害につながったならば……。そういうのは命取りになると思う。

### 【教訓】

いつ何時でも冷静な気持ちで、3秒で判断して行動に移す事をくせにしてほしい。